

2021
学生の
選んだ
「いい授業」

Tokai Univ. Teaching Award
Prize Winners List 2021

- ・授業内容は教職員ポータルまたはキャンパスライフエンジンから「[シラバス検索](#)」で確認できます。
- ・教職員が授業を見学する場合は「[授業時間割表](#)」で教室を確認し、授業開始前に担当教員に申し出て見学してください。
- ・所属等は2021年4月現在です。



発行：東海大学 編集：東海大学 教育支援担当 発行日：2021年6月1日
TEL：0463-58-1211（内線2086） E-mail：shien@tsc.u-tokai.ac.jp

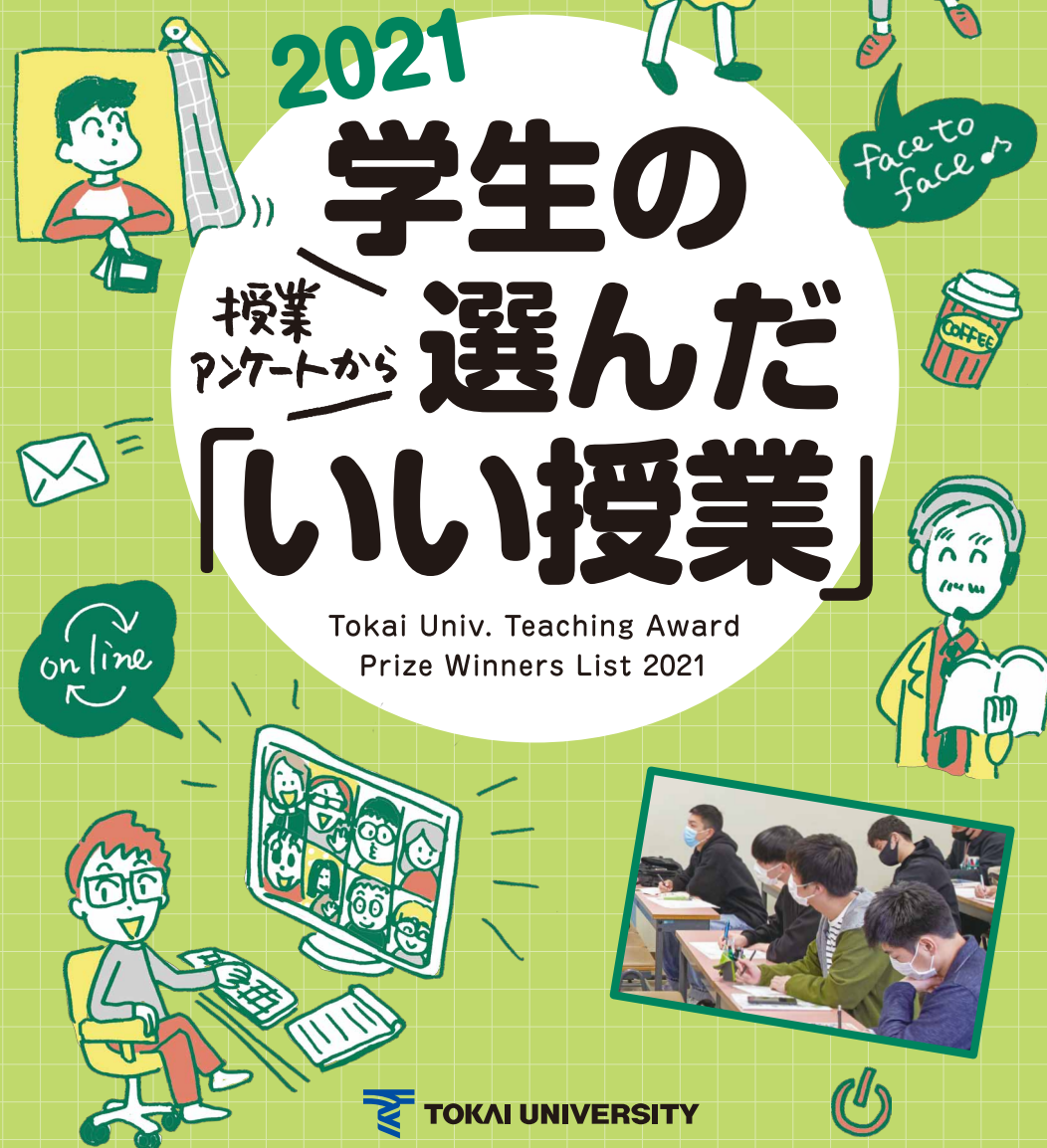
東海大学FD推進情報サイト <http://www.esc.u-tokai.ac.jp/>

東海大学FD推進情報サイト



2021
学生の
選んだ
「いい授業」

Tokai Univ. Teaching Award
Prize Winners List 2021



TOKAI UNIVERSITY



◆一緒につくろう! 『いい授業』◆

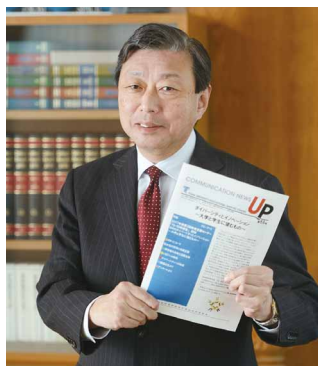
学生の皆さんへ

今回も学生の皆さんが選んだ「いい授業」の中から、授業を担当している先生方を表彰しましたのでお知らせします。

去年は、新型コロナウイルスの影響によって、オンラインでの授業をお願いしました。当初は学生の皆さんだけでなく、授業を行う先生方も戸惑ったことと思います。そのような中で表彰を受けた先生方は、コロナ禍での授業のあり方を模索し、創意工夫を重ね、学生の皆さんから高い評価を得た方々です。今年度も実施されるオンライン授業の良い先行事例として参考にしてください。

先生方がいろいろと工夫して、「いい授業」を実施できるようになるためには、学生の皆さんにお答えいただく「授業についてのアンケート」が大切な役割を担っています。より良い学習環境の実現には、学生と教員お互いの意見交換が必要です。これからもアンケートの回答にご協力ください。皆さんと一緒により良い大学を創っていきましょう。

東海大学 学長 山田 清志



「4つの力」でいい授業をつくろう

やあ！僕はリッキー！東海大学の「4つの力」イメージキャラクターだよ！

2009年に東海大学が社会的な実践力を養うための具体的な教育目標(育成する力)としてこの「4つの力」を策定したんだ。

「4つの力」とは、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の4つ。

自ら考える力

常に未来を見据え自らが取り組むべき課題を探求する力

集い力

多様な人々の力を結集する力

挑み力

困難かつ大きな課題に勇気をもって挑戦する力

成し遂げ力

失敗や挫折を乗り越えて目標を実現していく力

僕と一緒に「いい授業」をつくりましょう!!

東海大学の「4つの力」
イメージキャラクター リッキー



2021 学生之选だ「いい授業」

Tokai Univ. Teaching Award Prize Winners List 2021

◆ 優秀賞受賞者 (2020年度選出) ◆

工学部動力機械工学科

かとう ひで あき
加藤 英晃 先生



生物学部海洋生物科学科

おお ぼし まさ み
大橋 正臣 先生



理系教育センター(情報教育センター)

ほり さわ き ざり
堀澤 早霧 先生

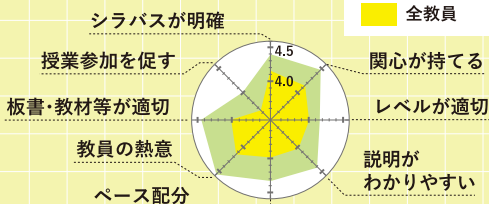


選考方法 東海大学では「授業力向上」のために、1993年度から学生による授業アンケートを行っています。1年間に開講された講義科目の授業を対象に、「授業についてのアンケート」の「総合評価平均評価点」、「科目履修人数」、「アンケート実施率」等の結果を考慮し、最終的に大学運営本部(当時)が厳正なる審査を行います。
なお、2019年度までは授業時間内に所定のアンケート用紙に記入する方法(マークシート方式)で実施していましたが、2020年度については多くの授業が遠隔で行われたことに伴い、Web方式でアンケートを実施しました。そのため、授業形態の区別は行っていません。

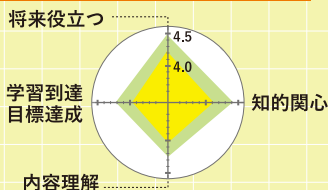
TA受賞者と全教員を比較

※2020年度実施結果

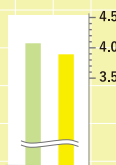
授業内容の工夫と進め方が違う



授業を通じて得られた満足度が違う



「4つの力」を意識できている



今回の総合評価は…

4.18

(5点満点中)

※2020年度秋学期の平均

[全科目の推移(全教員)]





工学部動力機械工学科

加藤 英晃先生

Kato Hideaki

E-mail : hkato@tokai-u.jp



知的好奇心が力になる

学生さんが将来を見据え、自分でもまだ知らない能力や可能性を発見するための授業を目指しています。かけがえのない青春の時間を浪費してほしくないと思うからです。私の授業は共通して、機械とそのシステムについて学ぶものです。毎回、様々な実物を教室へ持ちこみ、力強さ、繊細さ、複雑さ、単純さなどを感じ取ってもらいます。実物を手にすると学生さんの目の輝きが違います。先人たちの工夫がたくさん詰まっているからだと思います。これ



に気がつくと面白いし、もっと勉強したいという探求心も出てきます。だれもがもともと持っている知的好奇心をいろいろなアプローチで刺激し、気づきの積み重ねを意識してもらうように働きかけています。

【学 位】博士(工学)
 【専門分野】メカトロニクス/生体計測工学/心理工学
 【主要授業担当科目】レーシングカー工学/車両構造力学/車両制御工学/動力機械設計製図/入門ゼミナール/卒業研究1,2

加藤先生の『授業をよくするため』のテクニク



気づかれないように「3回説明」しています。①今から説明することを説明 ②説明 ③今説明したことを説明で3回です。ただし「3回説明」自体に意識が向くと「くどい」と感じ逆効果なので、読んだら忘れて下さい(笑)



カットモデルやレーシングカーのパーツの回覧です。博物館や図鑑で見たことはあるけれど...というものを集め、実際に手に取ってもらいます。遠隔授業では照明装置にこだわり、細部まで観察できるようにしました。



録音で流れやメリハリ、耳障りな口調になっていないかをときどきセルフチェックしています。もともと通る声ですが、疲労の蓄積や風邪で、かすれてしまうことがあるため、体調管理を徹底しています。

「いい授業」のために私はコレを活用

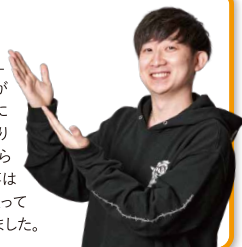
記述式アンケート ※遠隔授業ではFormsで実施

「何を書いてもOK。記名は自由。」と伝え実施。回収後、授業内で読み上げながらコメント。読んでる私はいつもドキドキですが、節度ある建設的な意見ばかりです。取り入れ可能な要望はすぐに試し、改善を図っています。

学生VOICE!!

根津 宏基さん
 工学部動力機械工学科 4年次生

加藤先生の授業は実物を見せていただけるという特徴があると感じました。文献上の図や写真のみではイメージにくい場面もしばしばありますが、実物を見て、触る事により具体的にイメージをすることができ、理解が深まりました。さらに加藤先生は授業後のフォローも手厚く、授業に関する事はもちろん、チャレンジセンターや就活に至るまで相談に乗って頂き、学生の事を第一に考えてくださる先生であると感じました。



加藤先生の
 2021年度の
 授業

▶ 授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

春学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	車両構造力学	選	2	湘南
	車両制御工学	選	2	湘南
	入門ゼミナール	必	2	湘南

秋学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	レーシングカー工学	選	2	湘南
	動力機械設計製図	選	2	湘南
	動力機械研究ゼミナール	選	2	湘南



生物学部海洋生物科学科

大橋 正臣先生

Ohashi Masami

E-mail : mas_ohashi@tsc.u-tokai.ac.jp



【学 位】博士(工学)
【専門分野】水産工学/海岸工学
【主要授業担当科目】環境と水産資源/
環境と水産資源実験/海洋の物理/
海洋生物の調査・分析法/野外調査実習

学んだ知識を応用するために

建設コンサルタント会社、国立の研究所の経歴があり、これらのバックグラウンドから「使える知識や応用能力」を学んでもらいたいと常々思っています。私の授業では、事象に対して素朴な疑問「なぜ?」「どうして?」が大切だと思っています。この論理的な解説には、できるだけ平易な言葉でわかりやすく説明するように心がけています。そして、この知識とこれから



派生した応用事例も話をするようにしています。また、時には「自然科学で答えが一つではないような課題」についても、学生に考えてもらうようにしています。この場合、より事細かなフィードバックや双方向の議論が必要で、現状では、十分では無いかもしれませんが、自己研鑽、努力していると思っています。

大橋先生の『授業をよくするため』のテクニック

わかりやすくする

授業で出てくる事象や公式については、具体的に「何の役に立つのか」を説明するようにしています。特に遠隔授業になってからは、Zoomのホワイトボードにフリーハンドで**ポンチ絵**をできるだけ、**たくさん書く**ようにしています。

関心を持たせる

初回授業でアンケートを実施して、授業内容やテーマについての学生が持っているイメージを書いてもらっています。そこから**学生が持っている視点や思いを授業内容に反映**させるように心がけています。

聞き取りやすくする

比較的早口になりがちですが、できるだけ重要事項の説明のときは、**ゆっくりと大きな声で話す**ようにしています。遠隔授業のオンデマンドの場合は、**聞き直して**的確で聞き取りやすくするようにしています。

「いい授業」のために私はコレを活用

調査機材など実物を利用する

授業で出てくる事象で、写真や動画で紹介することが多いですが、往々にして「わかった気になる」ことが多いと思います。特に調査機材など実際に手に取って見ることができるとは、教室に持ち込んで見てもらっています。

学生VOICE!!



見世 亮輔さん
生物学部海洋生物科学科 4年次生

大橋先生の講義は、海洋調査や各種の解析について先生が実際に経験されたことを織り交ぜながら講義を進めていくため、淡々と説明をするよりもイメージしやすく分かりやすいです。また、知識を深く身に付けることができるという点も大変魅力的です。そして、将来仕事をする際に役立つような内容も説明していただけるため、大学在学中に留まらず“一生”の知識を手に入れることができると考えます。

▶ 授業内容はキャンパスライフエンジン「シラバス検索」で確認!

春学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	環境と水産資源	選	2	札幌
	野外調査実習(フィッシング)	選	1	札幌

秋学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	海洋の物理	選	2	札幌
	環境と水産資源実験	選	2	札幌
	海洋生物の調査・分析法	選	2	札幌

大橋先生の
2021年度の
授業

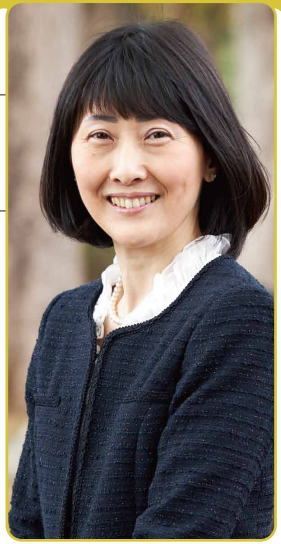


理系教育センター(情報教育センター)

堀澤 早霧先生

Horisawa Sagiri

E-mail : 「T365 Teams」のチャット(「堀澤早霧」で検索)



【学 位】博士(工学)
【専門分野】生物工学
【主要授業担当科目】プログラミング /
バイオミメティクス

理念を伝える

私が授業で大切にしていることは、学修における理念を伝える、ということです。その結果として、学生さんたちが飛躍的にスキルアップをし、全員が「S」評価になることを願っています。何かを修得しようとしたら「量質転化」に限ると私は考えています。これは、量的な蓄積をすることで質的な変化が起こる、という意味です。量的な蓄積をするために、学生さんたちが、能動的に参加できるような課題を用意し、「できた!」「やったあ〜!」「よっしゃあ〜!」という喜び、達成感や充実感を大切にしています。ですから、この賞を受賞することができたのは、学生さんたちがそれだけ頑張った、ということで、かつそれを自覚できた、ということだと思います。この場をお借りしてお礼申し上げます。



達成感や充実感を大切にしています。ですから、この賞を受賞することができたのは、学生さんたちがそれだけ頑張った、ということで、かつそれを自覚できた、ということだと思います。この場をお借りしてお礼申し上げます。

堀澤先生の『授業をよくするため』のテクニク

わかりやすくする
逆説的ですが、**教えずに**よいにしています。結果として、学生さんたちに協力してもらっていると思います。質問時間を適宜設けていますが、学生さんたちがよく質問をしてくれるので、その**質問に真摯に対応**しています。

関心を持つ
テキストを厳選して、とりわけプログラミングの授業では、理系教育センター(情報教育センター)の**坂田圭司先生が執筆されたテキストを使用**しています。そして、「やったあ〜!」の積み重ねができるような、課題の内容を工夫しています。

聞き取りやすくする
授業で私の言葉が「聞き取り易い」のが基だ自信がありませんが、普段が早口なので、授業では意識して**ゆっくり話す**ようにしています。それから、**一文をなるべく短く**して接続詞でつなぐように心掛けています。

「いい授業」のために私はコレを活用

「T365 Teams」や「授業支援システム」

多くの先生方がご利用されていて、参考ににならないかもしれませんが私は、学生さんたちと双方向の情報のやり取りができる上に、情報の共有ができる(情報のずれがない)点に助けられています。

学生VOICE!!

小川 将虎さん
工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻 4年次生

堀澤早霧先生の授業の特徴は、『量質転化』の言葉通り、授業や課題で演習量をこなす事で、プログラムの書き方や考え方が自然と身につく、応用力も備わることです。とてもフレンドリーな先生で、私達が質問しやすい環境を作って下さるので、授業に活気があります。先生の経験に基づき、丁寧に解説して下さる為、初心者でも分かり易く、オンラインになってよりリアルタイム授業だったので疑問点も即時解決でき、効率的に学習できました。



▶ 授業内容はキャンパスライフエンジン「**シラバス検索**」で確認!

春学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	プログラミング基礎/基礎A	選	2	湘南
	プログラミング応用/応用A	選	2	湘南
	プログラミングC	選	2	湘南

秋学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	プログラミング基礎/基礎A	選	2	湘南
	プログラミング応用/応用A	選	2	湘南
	バイオミメティクス	選	2	伊勢原

堀澤先生の2021年度の授業



あなたの勉強をサポートします！

東海大学の 学習支援

Learning support

東海大学では、学生のみなさん一人ひとりの学習をさまざまな形で支援しています。

e-ラーニングのできる「^{ティーアイシーユー}TICU」をはじめ、外国語に特化した「^{エルナビ}L-Navi」では、担当の先生や先輩が個別に指導してくれます。苦手分野の克服や、好きな分野の追求など、利用方法はさまざまです。ぜひご活用ください。

自分のペースで自由に勉強したい人は



TICU オンライン講座

ホームページ

<http://www.cyber.u-tokai.ac.jp/>



本学の学生及び教職員がいつでもどこでも無料で自学自習のために利用できるオンライン講座を提供しています。提供している内容は、数学、物理、化学、生物、英語、ことばの世界など様々。みなさまぜひご利用ください。



担当者より

理系科目の基礎知識の確認や、普段何気なく用いている「ことば」について学ぶことができます。また、英語コースでは「スーパー英語(Academic Express3)」を導入しています。高校の復習や留学に備えた英語の自己学習をしたい方は、ぜひご活用ください。

ビーワンオフィス 山下 尚人さん

英語だけでなく、他の外国語も含めて
苦手の克服やさらに向上を目指す人は



L-Navi 多言語の学習支援室

場所 湘南校舎1号館1階B翼Global AGORA内
(授業期間・定期試験期間の月曜～金曜 12:00～18:00)

今春学期はTeamsにて運営 (Teamコード:5a1erpu)
平日12:00～17:00 (木は13:00開始)

L-Navi(言語・学習相談室)では、英語だけでなく、他の外国語の学習や留学生の支援まで幅広いニーズに応えます。語学教育センターの教員や学生サポーターが、授業に限らず、資格試験や留学など、語学に関わるあらゆる質問や相談に応じます。ライブラリーやカフェもありますので、気軽に立ち寄ってください。



担当者より

多言語・多文化のための自由な学習・交流スペースとしてGlobal AGORA内にL-Navi(言語・学習相談室)があります。教員や学生による語学学習グループの活動や様々なイベントの企画など、言語や文化との出会いの機会を提供していきます。

語学教育センター-英語教育部門教授 長沼 君主先生



学生の選んだ「いい授業」

受賞者一覧 (2002~2020年度)

※退職者、名誉教授、掲載辞退者を除いています。
※現在の所属名称で表示しています。

マークの見方

優秀賞 ('00:受賞年度 '00年:受賞年)

*...2007年度以前の「最優秀賞」を示す。(2007年度以前は選考方法が異なり最優秀賞と優秀賞があるため)

文学部	文明学科	井野上 真弓 先生	
文化社会学部	アジア学科	葉 千栄 先生	
	ヨーロッパ・アメリカ学科	吉田 厚子 先生	
	北欧学科(団体受賞)		
	文芸創作学科	堀 啓子 先生	
	広報メディア学科	笠原 一哉 先生	
	心理・社会学科	浅井 千秋 先生	
政治経済学部	経営学科	有沢 孝治 先生	
	経営学科	岩谷 昌樹 先生	
教養学部	芸術学科音楽学課程	梶井 龍太郎 先生	
	国際学科	荒木 圭子 先生	
		小山 晶子 先生	
		小貫 大輔 先生	
		田辺 圭一 先生	
体育学部	体育学科	内田 匡輔 先生	
	武道学科	天野 聡 先生	
	生涯スポーツ学科	野坂 俊弥 先生	
健康学部	健康マネジメント学科	阿部 正昭 先生	
		小林 理 先生	
理学部	数学科	小川 竜 先生	
		古谷 康雄 先生	
	情報数理学科	土屋 守正 先生	
	物理学科	遠藤 雅守 先生	
		江川 浩 先生	
	化学科	関根 嘉香 先生	
情報理工学部	情報科学科	内田 理 先生	
	コンピュータ応用工学科	浅川 毅 先生	
工学部	応用化学科	長瀬 裕 先生	
	電気電子工学科	大山 龍一郎 先生	
	動力機械工学科	加藤 英晃 先生	
	航空宇宙学科航空宇宙学専攻	池田 知行 先生	
	航空宇宙学科航空操縦学専攻	新井 直樹 先生	
		中川 淳雄 先生	
観光学部	観光学科	立原 繁 先生	
情報通信学部	情報メディア学科	濱本 和彦 先生	

情報通信学部	経営システム工学科	大竹 恒平 先生	
		西口 宏美 先生	
		森山 弘海 先生	
海洋学部	海洋生物学科	村山 司 先生	
	海洋フロンティア教育センター	岡田 夕佳 先生	
医学部	看護学科	石井 美里 先生	
農学部	応用動物科学科	今井 早希 先生	
	応用植物科学科	櫻村 敦 先生	
国際文化学部	地域創造学科	松田 靖 先生	
		植田 俊 先生	
		広川 龍太郎 先生	
	国際コミュニケーション学科	山田 秀樹 先生	
		ディーンエリックスティーブン 先生	
		ハミルトンマークC 先生	
		中尾 紀行 先生	
デザイン文化学科	田川 正毅 先生		
	藤森 修 先生		
	生物学科	笠原 宏一 先生	
生物学部	海洋生物科学科	和泉 光則 先生	
	大橋 正臣 先生		
スチューデントアチーブメントセンター	清水教養教育センター	栗原 ゆか 先生	
	九州教養教育センター	マイナー ダニエル W. 先生	
教職資格センター	課程資格教育センター 教育学研究室	朝倉 徹 先生	
		稲垣 智則 先生	
		篠原 聡 先生	
語学教育センター	英語教育部門	シロズブリーマークリチャード 先生	
		中川 浩 先生	
		星野 芳恵 先生	
	国際言語教育部門	安 小鉄 先生	
		キム ミンス 先生	
		佐藤 浩一 先生	
理系教育センター	理学部基礎教育研究室	中島 仁 先生	
		及川 義道 先生	
	情報教育センター	永野 光浩 先生	
		堀澤 早霧 先生	

「いい授業」実現のために



東海大学が実施している 授業改善の取り組み



ユニバーシティビューローゼネラルマネージャー(教育支援担当)
理学部情報数理学科教授

土屋 守正



各種アンケートを実施

東海大学では、学習状況や教育環境の改善のため、以下のようなさまざまなアンケートを実施しています。今後も入学から卒業まで、学生一人ひとりの声に耳を傾け、学びの場の充実に努めていきます。

- ① 授業についてのアンケート Teaching Award賞“学生の選んだ「いい授業」”で高評価の授業を紹介している
- ② キャンパスライフアンケート 学生からの声を集め、更なるキャンパスライフ改善に役立っている
- ③ 卒業にあたってのアンケート 卒業時に大学全般のことについて広く意見を集め、今後の教育環境改善に役立っている
- ④ 「4つの力」のアセスメント 学生一人ひとりのディプロマ・ポリシー(社会的実践力「4つの力」)を把握する



2020年度第1回教育支援センター「FD研修会」 「遠隔授業の留意点～『遠隔授業アンケート』結果から見えてきたこと～」

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い2020年度春学期の開講授業は主にインターネットを活用した授業(遠隔授業等)で実施されました。全面的な遠隔授業の実施は初めての試みであり、春学期の経験を秋学期に活用していくため、学生、教員に対し「遠隔授業についてのアンケート」を実施しました。

それらの結果を踏まえて2020年9月14日(月)に「遠隔授業の留意点～『遠隔授業アンケート』結果から見えてきたこと～」と題して、2020年度第1回教育支援センター「FD研修会」をTeamsライブイベントにて開催し、本学の7キャンパス及び短期大学部、医療技術短期大学より315名の教職員が参加しました。教育支援センター所長(当時)である理学部情報数理学科の土屋守正教授が講演を行い、3名の先生方に事例紹介をいただきました。

本研修会及び「遠隔授業についてのアンケート」結果等を基に、「遠隔授業の推奨ガイドライン(2020年度秋学期版)」を作成しました。本学教職員は、[T365]-[SharePoint]-[大学サイト]-[ライブラリ(全校舎)]-[290.教育支援課]より閲覧できます。

本研修会を記録した動画の視聴を受け付けております(本学教職員対象)。希望される場合は、[T365]-[SharePoint]-[大学サイト]-[ライブラリ(全校舎)]-[290.教育支援課]-[研修会等のビデオ視聴について]をご覧ください。

本研修会の内容は広報誌「COMMUNICATION NEWS UP」第73号で特集しています。下記のQRコードより閲覧できます。バックナンバーもご覧になることが可能です。他大学の事例を用いた教育手法や東海大学の取り組みなどが掲載されています。



東海大学FD推進情報サイト <http://www.esc.u-tokai.ac.jp/>

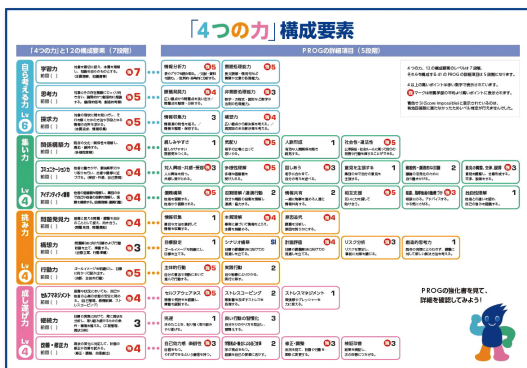


「4つの力」のアセスメント”を活用して 学生とコミュニケーションをとる!

学生の個性を把握するためには、教員と学生の間で十分なコミュニケーションを重ねることが必要となります。東海大学では、1年次生と3年次生に、社会で求められる力(課題解決力や、チームワーク力等)を測定するツール「PROG」(河合塾と株式会社リアセックが共同開発)を用いて、東海大学の「4つの力」(「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」)を数値化し、今後の能力開発を支援するために「4つの力」のアセスメントを実施しています。

今年度も4月7日(水)～21日(水)に、新1年次生が「4つの力」のアセスメントを実施しました(Web実施)。入学時点で保有している能力を数値化し、学生一人ひとりが把握することで、大学4年間の能力開発をどのように計画していくかを考えるための指標となっています。

また、教員は学生に返却している「結果報告書」を「学生支援システム」で閲覧できます(実施開始の2018年度分から閲覧可能)。学生一人ひとりのリテラシーやコンピテンシーがわかるので、個性に応じた対応を適切に行うための目安として、履修学生やゼミ学生の状況把握だけでなく、プロジェクトやクラブ活動、就職活動の指導時(3年次生は秋学期に実施)にも活用しています。



▲「4つの力」のアセスメント”の結果サンプル
12の項目から構成され、項目ごとに7段階で評価される。

TOPICS

2021年度「授業公開」の実施及び Teaching Award受賞者の「授業参観」について

東海大学では、教員相互の授業参観を通じて、優れた授業の展開や組織としての教育力の向上につなげようとの観点から、「授業公開」をFD活動の重要な手段のひとつとし、すべての授業を対象として授業参観を展開しています(ただし、医学部医学科開講科目は学科内でのみ実施)。

今年度は、学生の「授業についてのアンケート」の結果から「いい授業」として選ばれた2020年度 Teaching Award受賞者の先生方の中からご協力をいただき、以下の日程で「授業参観」を実施します。

■Teaching Award受賞者による「授業参観」

教員名(所属)	授業科目名(形態・教室)	日程	時限	募集人数
加藤英晃 (工学部動力機械工学科)	車両制御工学 (対面式・湘南16-504教室)	6月4日(金)	3	10人
大橋正臣 (生物学部海洋生物科学科)	環境と水産資源 (オンデマンド式・OpenLMS)	6月1日(火)	1	10人